

2016年9月13日

ジャカルタ ジャパン クラブ
会 員 各 位

ジャカルタ ジャパン クラブ
邦人安全対策連絡協議会

本協議会から最近の治安状況等についてお知らせいたします。会員各位ならびにご家族、また関係のご出張者におかれましては治安状況等に十分ご留意いただき、掲載の事件・事故と同様の被害に遭われないよう十分ご注意ください、ご周知ください。

* J J C 邦人安全対策連絡協議会 TEL : 3 1 5 - 0 4 1 8
FAX : 3 1 9 2 - 5 9 0 2
* 在インドネシア日本国大使館 TEL : 3 1 9 2 - 4 3 0 8

1 冒頭挨拶

9月12日のイスラム教犠牲祭にあわせ、当館から注意喚起を發出。テロに関し、当館としての見方を説明したい。最近の傾向には、(1) 中東アフリカのみならず、欧州やアジアでの頻発、(2) ソフト・ターゲットに対するテロの発生、(3) ホーム・グロウン型のテロリストの増加が挙げられる。こうしたテロの発生自体を予見するのは難しいが、邦人がテロの被害に遭わないようにするため、以下の三本柱をベースとして国を挙げて対策を強化していく。

(1) 国民の安全対策意識・対応能力の向上、(2) 国民への情報伝達の強化、(3) そのための体制強化。このような対策の一環として、今月21日には、当館を中心にインドネシア国内の総領事館、各地日本人会、日本人学校等にも協力をお願いして、実際のシミュレーションに基づいた緊急対応訓練を実施する予定。

2 最近の政治・治安情勢

8月20日、メダンのキリスト教教会において、17歳の少年が神父を襲う事案が発生。他のテロリストとインターネットを介して連絡を取っていた形跡は確認されたが、組織には属していない模様。いわゆるローン・ウルフ型とみられ、予防が難しい。インドネシアでは珍しいタイプである。

3 邦人に関わる最近の事件・事故報告

下記3件の事案が発生。いずれも無くなった現金・貴重品は戻ってきていないことから、身の回りや持ち物等の管理を徹底していただきたい。

(1) 空き巣被害

ジャカルタ市内のアパートを数日不在にした間に、空き巣被害に遭った。施錠したはずの部屋の鍵が帰宅時には開いており、部屋が荒らされ金庫に入れていた200万円以上の現金及び貴重品が盗まれていた。使用人には鍵を預けていなかったが、これまで何回か鍵を預けて数時間外出したことはあった。金庫の鍵を別の部屋のタンスに入れていたため被害が拡大した。

(2) タクシー内での荷物置き忘れ

夕刻、アパート前で降車した際に、現金約300万ルピアと携帯電話を入れた鞆をタクシー内に置き忘れた。すぐにタクシー会社に連絡し、車両は特定したものの、直後に別の客を乗せ

たとの供述もあって、当該鞆の発見及び返却には至っていない。

(3) 見せ金詐欺

某有名ホテルのロビーにおいて、アラブ系の男性から「(1万円札を出して)両替ができるところを知らないか。1万円はルピアでどれくらいになるか。ルピア札の種類を見せてほしい。」などと財布を出させるよう英語で親しげに話しかけられ、最後に両替所はどこにあるかと再度聞かれ少し考え込んでよそ見をした隙に、財布から現金200ドルを抜かれたようだ。その場では気がつかなかったが、後ほど財布を見て現金が減っていることに気がついた。(同様の手口での犯行が複数報告されている。)

4 最近の医療事情等

タイやベトナム、シンガポールなど東南アジア諸国において、7～8月のデング熱の発生件数が例年の倍となっている(インドネシアは、正式には未発表)。この8月は降水量が多く、インドネシアでもデング熱の患者の増加が危惧される。防蚊対策をお願いしたい。

5 報告及び連絡

(1) テロ対策や安全対策に関しては、先般、JJC(ジャカルタジャパンクラブ)主催の「海外安全セミナー」においても、インターナショナルSOS/コントロールリスクス社の講師が語っていたが、危機管理意識をもつことによっても事件や事故を未然に防ぐことができる。

(2) 大使館では、8月15日の独立記念日以降、3本の領事メールを発出している。(ア)独立記念日に合わせたスポット情報は依然有効である。(イ)メダン教会襲撃事件、そして、直近では(ウ)犠牲祭に合わせて注意喚起を行っている。今後、10月2日はイスラム暦の新年、12月12日はムハンマド生誕祭といったイスラム行事を控えているが、当館ではテロ関連の情報収集に努めると共に、必要に応じて適時適切な注意喚起を行っていく。

(3) バングラデシュ・ダッカ襲撃事件、また、リオのオリンピック・パラリンピックの影響もあって、たびレジの登録者数が増えていると承知しているが、今後とも、出張者、旅行者においては、出張先・旅行先のたびレジ登録を引き続きお願いしたい。

(4) インドネシアでは、本年6月より29の空港、88の海港、7の陸路チェックポイントにおいて査証免除となる入管施設が拡大されている。当該情報については当館HPには掲載済みだが、現時点では在京インドネシア大使館のHPではアップデートされていない。査証免除措置が未だに末端の入管職員まで徹底されてない等、依然としてトラブルは若干生じているようだが、この新しい措置によって、外国人がインドネシアに出入国するに当たっては、実態上殆どの入管施設で査証免除が開始されていると認識いただいて構わない。

6 質疑応答、各社(団体)からの報告等

(報告)

IKEAで携帯電話のスリが発生。駐在員の妻が、ベビーカーにかけていた鞆の外側ポケットに携帯を入れて買い物をしていたところ、すられていた由。本件以外にも、同店で同様の携帯電話スリ事案が発生している模様。

(報告)

奇数偶数日による交通規制に違反したとして、運転手の免許証が取り上げられた。今週の簡易裁判を経て免許証が返却される予定(後日、指定された日付に出頭し、総額35万ルピアを支払、免許証返却を受けた。)

(報告)

チカランの入管職員による査察が急遽行われ、日本からの出張者等もいたため、対応に苦慮した。

(日本人学校)

8月30日から2学期が始まった。安全対策として、不審者対策を徹底したい。帰宅時に教員がスクールバスに同乗する「イクット・バス」やSMSを利用した保護者への緊急連絡の訓練などを行っている。24日には体育祭が予定されているが、安全には十分に気をつけたい。

(JJC)

9月8日に、インターナショナルSOSから講師を招いて海外安全セミナーを実施。テロの脅威も含めて、安全上の問題を如何に事前に予防できるか、また有事の初動対応のあり方について説明があった。

次回の海外邦人安全対策連絡協議会は、2016年10月11日（火）午前11時から